

**2022年度
第13回 U10サッカーリーグ
大会要項**



主 催：NPO法人伊勢サッカー協会
主 管：NPO法人伊勢サッカー協会少年部

2022年度 第13回U10サッカーリーグ

1. 主旨

NPO法人伊勢サッカー協会少年部に加盟するチーム選手の心技体の向上と、審判員の技術向上を目的に開催する。

2. 主催

NPO法人伊勢サッカー協会

3. 主管

NPO法人伊勢サッカー協会少年部

4. 参加・出場資格

2022年度（公財）日本サッカー協会の第4種加盟登録されたチーム・選手でスポーツ安全保険に加入していること。
但し出場選手は、4年生～2年生の選手であること。

5. 競技規則

（公財）日本サッカー協会競技規則に順ずる（8人制サッカー規則 グリーンカード適用試合）

競技細則 ・ピッチサイズ 縦70m（以内）×横50m（以内）

・自由交代制を採用する。

・退場及び2度の警告を受けた選手は次の1試合に出場できない。

（警告については全ての日程に累積する）

・試合開始5分前に選手は、試合グラウンドに集合し円滑な試合進行に協力する。

6. 試合方法

参加10チーム総当たり戦によるリーグ戦を行う。

※勝ち点は、勝ち…3 引分…1 負け…0 とする。

※リーグ戦の成績は、勝ち点→得失点→総得点→当該対戦で決定し、それでも決しない場合はPK戦（3vs3、以降サドンデス）を行う。

7. 試合時間

30分（15分-5分-15分） 1節につき、各チーム1～3試合とする。

8. 審判員

（公財）日本サッカー協会登録審判員であること。大会主旨の観点から審判員は、2022年度審判員新規取得者も各チーム審判員の指導を受けながら審判員を務める事もできる。（審判員の育成の観点から）

帯同審判員は指導者と兼ねても良いが着替えること。試合運営に支障をきたさないこと。

審判員1人制を採用する。（主審のみ）

※交代時は各チーム指導者が選手に教えながらサポートすること。（交代時のピブスの受け渡しなし）

（仮に交代時の不備が起きてしまっても主審が把握していなかった場合、反則、警告にはしない）

※主審に不測の事態が発生した場合→試合を一旦ストップし、他に主審を代わってもらえる人を探す。

他にいない場合は該当チーム同士で相互審判で再開する。

9. 日程（予定）

2022年4月16日（土）第1節 伊勢フットボールビレッジ Eピッチ

2022年6月19日（日）第2節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ※フジパン2日目

2022年8月27日（土）第3節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

2022年10月22日（土）第4節 伊勢フットボールビレッジ Cピッチ

10. 表彰

1・2・3位チームに表彰状。1位のチームにトロフィー（持ち回り）とレプリカ。各チーム選手に優秀選手賞（メダル）
リーグ戦の上位2チームは、2022年度OKAYAカップ新人大会（U10）に出場する。

●コロナの状況などで全ての試合の消化が不可となった場合、順位付け条件は下記の通りとする。

①計画している試合数の消化率が50%以上の場合は、その時点の成績にて順位付けを行う。

但し、日程の都合で消化試合数が少ないチームがある場合は、最も少ない消化試合数に合わせるものとする。
※試合数の多いチームは直近に実施した試合結果を白紙としてカウントする。

- ②計画している試合数の消化率が50%に満たない場合(①項の試合数調整処置含む)は、前年度の大会成績にて順位付けを行う。※U10はU9佐瑠女杯の成績
- ③上記の①、②の方法でも決定できない場合は、抽選にて順位付けを行う。

11. 登録について

2022年度OKAYAカップ新人大会U10三重県大会伊勢予選の為、各チームとも登録用紙(エントリー表)に氏名・選手登録番号を記載し、第1節開始時に本部へ用紙を提出すること。

第2節以降、登録用紙(エントリー表)に変更が生じた場合は、変更する節の開始時に本部へ変更後の用紙を提出し、変更前の用紙と差し替えること。

12. ルールの基本的な考え方

審判1人制を採用することにより審判員の育成を行う。オフサイドについては疑わしきは罰せず。審判団に対するジャッジについては、チーム・指導者・保護者すべての者は不平不満を表さない。

13. その他

- ①雨天や猛暑等により、試合を中止にする場合がある。中止は試合当日もしくは前日に決定する。
- ②大会は原則として伊勢フットボールヴィレッジで行うが、学校行事との重複や天候による中止等、特定の節の全試合もしくは一部の試合が延期となった場合、日程追加・ナイター開催・他会場での実施等、柔軟に対応する。
- ③伊勢フットボールヴィレッジを利用する場合、ピッチ内への入場は選手と帯同スタッフのみ可能とする。また、ピッチ内へ持ち込める飲料は「水」もしくは「スポーツドリンク」とする。
- ④ベンチ入りスタッフはおおむね5名までとする。(そのうち1名はピッチ内で試合の撮影を可能とする。)帯同スタッフは首からネームホルダーを着用する。(忘れた場合は協会倉庫にある物を着用する。)
- ⑤会場設営・撤収については各チームの協力で行うこと。設営は毎節各ピッチの1試合目に該当するチームで行い、撤収は毎節各ピッチの最終試合(最終試合=フレンドリーマッチも含む)に該当するチームで行うこと。
- ⑥毎節の本部運営や試合結果の管理は、各カテゴリーの運営担当チームが行い、試合結果は少年部長宛てにメール等で連絡すること。
- ⑦喫煙は指定の場所で行い、ゴミ・吸殻等は各チームで持ち帰ること。また、路上駐車や駐車場の場所取りは禁止とし、その他各チームの責任で常識ある行動をとること。
- ⑧保護者の観戦はピッチ外(防護ネットの外)とする。(伊勢フットボールヴィレッジCピッチの場合)その他の会場の場合は、その都度指定をした場所での観戦とする。
- ⑨選手の用具について
 - 1 本大会に登録した1着以上のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、着用しなければならない。(2着以上の持参が好ましい。)
 - 2 ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる(ビブス等も可)。
 - 3 ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
 - 4 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
※エントリー表の背番号とビブスの背番号が異なる場合は、審判が必ず把握すること。
 - 5 ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
 - 6 アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - 7 アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ⑩選手が新型コロナウイルスに感染もしくは濃厚接触者となり、特定の節の試合に参加できない場合は、チームとしての参加延期を認める。尚、当該選手を除いたメンバーで参加することも可能とする。(新型コロナウイルスワクチンの接種または副反応で対象選手が出場できない場合も同様とする。)リーグ開始後、感染症法上の位置付けが変更された場合はこの限りではなく、②により決定する。
- ⑪チーム都合で試合を辞退した場合は、棄権扱いとし0-3の不戦敗とする。
※但しコロナウイルス、ワクチン接種等が理由で試合を辞退した場合は延期とする。
- ⑫その他要項に記載のない事象については、少年部長・副部長を中心にその都度協議・決定する。

14. 大会参加費用

大会参加費用として1チーム10,000円とする。

15. 運営チーム ※いずれかのチームスタッフが、本部に詰めている事。

SAN FC・伊勢YAMATO FC Jr・修道FC・パルティエダSS

16. 出場チーム

①三重中勢伊勢YAMATO FC Jr ②SAN FC ③修道FC ④伊勢MTK FC ⑤城田SC ⑥小俣町SSS ⑦玉城JFC
⑧北浜SS ⑨パルティエダSS